

令和6年度 高知県死因究明等推進協議会議事要旨

日 時: 令和7年2月12日(水) 18:30~20:00

場 所: 高知城ホール 2階 中会議室

出席者: 古宮委員(会長)、伊与木委員(副会長)、小松委員、濱田委員、中村委員、大地委員
田中委員、都築委員(計8名)

【事務局(医療政策課)】 宮地課長補佐、鎌田チーフ、吉本主幹

1 開会

・都築委員から開会の挨拶

2 令和6年版死因究明等推進白書の概要について【資料1】

・資料1について事務局から説明

<質疑>

Q: 死因究明拠点整備モデル事業を実施しているところはどこか。

A: 令和5年度の事業の実施主体は京都府、浜松医科大学。令和6年度は京都府、大阪府、東京医科大学となっている。(事務局)

3 高知県における死因究明等の推進のために取り組むべき重点項目の見直しについて【資料2】

(事務局)

・令和6年7月に死因究明等推進計画が閣議決定されたことを踏まえ、各委員には本協議会の重点項目の見直しについて意見照会させていただいていたところであるが、特段意見はなかったため、現行の重点項目を用いて引き続き取組の進捗管理を行っていきたい。

・また、今後の見直しについては、死因究明等推進計画の見直しのタイミングと合わせて3年に1回を目処に行っていきたいと考えているが、よいか。

→全委員了承

4 各機関の取組実績について【資料3】

・各機関から資料3の取組実績について説明。

<質疑等>

・項目4

(委員)Aiの依頼をすれば受けていただけそうな医療機関はあるか。

(医師会)通常の診療の最中にご遺体を撮影することになるので、抵抗がある医療機関もある。CTが複数台ある規模が大きな医療機関でないと厳しいのではないか。

・項目5

(委員)歯科情報をクラウド化するととなるとこのネットワークを使う予定か。

(歯科医師会)厚生労働省のクラウドを使うことは決定している。

・項目6

(委員)来年度のAi 技術研究会は開催予定はあるのか。

(放射線技師会)次回は安芸方面で開催を予定している。開催日が決まれば事務局を通じて連絡する。

5 情報共有事項について【資料4】

・県警から県東部地区におけるAi 依頼可能病院の減少について共有があった。東部地区については医療機関も少なく、CT を保有していても複数台ないと通常の診療に影響が出る可能性があるため、警察としては必要性を訴えて少しでも依頼可能な医療機関を増やしていきたいと考えている。

6 その他

・来年度の協議会の開催時期について

(事務局)2月頃の開催を考えているが、よいか。

→全委員了承

7 閉会